

甲府市議会だより

第57号

昭和58年6月1日

編集・発行

甲府市議会だより

編集委員会

電話(35)7054

甲府市議会事務局



五月臨時会

新議会の構成決まる

5月臨時会

就任あいさつ



議長

長瀬正左衛門



副議長

早川光圀

去る四月二十四日に施行されました地方議会議員統一選挙の結果、新たに選挙された甲府市議会による初の臨時議会におきまして、議員各位のご推挙により栄誉ある議長、副議長に就任いたしました。

私ども身に余る光栄で、まことに感激をしておる次第でございます。

もとより浅学非才ではありますが、その職責の重大さを自覚し、市民の皆様がたのご期待に沿うよう決意を新たにしております。昨今の経済環境は厳しく、行財政改革が叫ばれております今日、市政をとりまく状況は、依然厳しいものがあります。

このような状況の中で、本市は県都として着実に発展しつつありますが、六十一年開催のさいごに団体、また甲府駅の近代化など、対応しなければならぬ問題が山積いたしております。

これらの懸案事項を解決しながら市民生活の安定向上と発展を期するために、私達議会も、議決機関としての議会の使命の重大さを痛感し、市民の皆様への負託にこたえるべく適切な議会運営のもと、執行機関と協力して、市政発展のため微力ではありますが、万全を期してまいりたいと考えております。

ここに就任にあたりまして決意の一端を申し上げ、市民の皆様がたのご理解と今後一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

議長に長瀬正左衛門氏当選

副議長は早川光圀氏

五月臨時議会

市議会改選後の初議会である臨時市議会は五月十八日に招集され、正副議長など新議会の構成が決まりました。

正副議長の選出については、投票の結果、第六十四代議長に長瀬氏（政友会）が、第七十五代副議長には早川光圀氏（公明党）がそれぞれ当選されました。

また議会における内部審査機関として、議案、請願、陳情等の審査並びに調査を行うため、条例により設置をされている四つの常任委員会、並びに議会運営に関する議長の諮問機関である議会運営委員会の構成が決まりました。

建設委員会 定数十一名

- 委員長 鈴木豊後
- 副委員長 長田昭哉
- 委員 塩野襄明
- 依田敏夫
- 小沢綱雄
- 齊藤憲二
- 渡辺静男
- 武川和好

水道委員会 定数九名

- 委員長 堀口菊雄
- 副委員長 牛奥公貴
- 委員 内藤幸男
- 三井五郎
- 飯島勇
- 堀内光雄
- 長瀬正左衛門
- 堀内光雄

総務委員会 定数十一名

- 委員長 千野喙
- 副委員長 堀内征治
- 委員 上田英文
- 村山二永
- 川名正剛
- 小林匡
- 小林康作
- 岡田修

民生委員会 定数九名

- 委員長 中込孝文
- 副委員長 野村義信
- 委員 宮野村
- 飯沼雅展
- 清水節子

議会運営委員会 十二名

- 委員長 原正八郎
- 副委員長 富永政男
- 委員 上田英文
- 依田敏夫
- 中込孝文
- 中込孝文
- 早川光圀
- 堀内光雄
- 飯島勇
- 三井五郎
- 堀内光雄
- 小沢綱雄
- 小沢綱雄
- 小林匡
- 小林康作
- 岡田修

議会監査委員に 飯島勇氏



監査委員 飯島勇氏
光圀氏の任期満了に伴い、新たに飯島勇氏を選任する議案が今臨時議会に提出され、全会一致をもって同意されました。

（飯島勇氏の略歴）
甲府市大手一丁目三番四号
県立甲府工業学校卒業
市議会議員二期
総務常任委員会委員長、建設経済常任委員会委員長を歴任、五十六才

議員を選挙

広域行政事務組合
甲府・玉穂中組合

甲府地区広域行政事務組合議員

甲府市・玉穂村
中学校組合議員

- 上田英文 村山二永
- 森沢幸夫 川名正剛
- 三井五郎 早川武男
- 小林匡 堀内征治
- 小林康作 堀内征治
- 千野喙 岡田修
- 上田英文 村山二永
- 森沢幸夫 川名正剛
- 岡田修 堀内征治
- 千野喙 岡田修

新助役に新藤氏

収入役に荻原氏
監査委員に保坂氏
を同意

本臨時議会に、三神俊一郎助役の辞職退任に伴う後任として新藤昭良氏を、三月三十一日に退職した古屋昭収入役の後任に荻原克己氏を、同じく小林一彦監査委員の後任として保坂一氏が提案され、それぞれ同意しました。

（新藤昭良氏の略歴）
昭和二十一年八月市役所に入所以来、企画調整部長、経済部長、甲府市水道事業管理者を歴任、五十五才（保坂一氏の略歴）
昭和二十一年七月市役所に入所以来、水道局下水業務担当主幹、参事、市立甲府病院事務局長を歴任、五十五才
（荻原克己氏の略歴）
昭和二十一年九月市役所に入所以来、企画室主査（課長）、企画部長、経済部長を歴任、五十五才

甲府市議会会派一覧表

昭和58年5月18日現在
◎印は代表者

会派名	人員	構成員
政新会	13	◎内藤秀治 上田英文 内藤幸男 塩野襄明 福島勇 宮島雅展 村山二永 依田敏夫 劍持庸雄 清水節子 森沢幸夫 飯沼忠 川名正剛
政友会	9	◎小沢綱雄 三井五郎 早川武男 中西久 長瀬正左衛門 原田正八郎 堀口菊雄 長田昭哉 野村義信
社会連合・市民連合	6	◎小林匡 飯島勇 鈴木豊後 中込孝文 岡田伸 斉藤憲二
公明党	5	◎小林康作 堀内光雄 早川光圀 堀内征治 秋山雅司
市政同志会	5	◎小沢政春 富永政男 千野喙 渡辺静男 牛奥公貴
日本共産党	2	◎武川和好 岡田修

新議員の横顔



秋山 雅司
千塚四丁目7-20
公明党 1期
☎51-1618



飯島 勇
大手一丁目3-4
社会党・市民連合2期
☎52-6758



飯沼 忠
山宮町1530-20
政新会 1期
☎51-1430



上田 英文
下鍛冶屋町994
政新会 5期
☎41-6600



牛奥 公貴
善光寺町2385
市政同志会 1期
☎35-5851



岡 伸
上町1484
社会党・市民連合2期
☎41-3722



岡田 修
国母七丁目6-7
日本共産党 2期
☎26-1838



長田 昭哉
千塚四丁目5-19
政友会 1期
☎53-1153



小沢 綱雄
青沼二丁目5-7
政友会 7期
☎35-1476



小沢 政春
国母七丁目3-1
市政同志会 3期
☎22-5473



川名 正剛
西田町5-43-1
政新会 1期
☎52-2532



剣持 庸雄
羽黒町1390
政新会 1期
☎52-5391



小林 康作
愛宕町196
公明党 4期
☎53-0982



小林 匡
塩部二丁目7-13
社会党・市民連合3期
☎53-4786



斉藤 憲二
富竹二丁目8-16
社会党・市民連合1期
☎26-3336



塩野 泰明
新田町15-5
政新会 3期
☎22-5268



清水 節子
伊勢四丁目21-1
政新会 1期
☎35-6510



鈴木 豊後
池田三丁目10-28
社会党・市民連合2期
☎51-5080



千野 峰
湯田二丁目6-2
市政同志会 2期
☎35-3827



富永 政男
羽黒町670-4
市政同志会 2期
☎52-3007



内藤 秀治
飯田三丁目10-16
政新会 7期
☎22-9093



内藤 幸男
塩部三丁目2-23
政新会 4期
☎52-9185



中込 孝文
酒折町1141-1
社会党・市民連合2期
☎32-5383



長瀬正左衛門
善光寺町2335
政友会 4期
☎33-2033



中西 久
美咲一丁目2-11
政友会 5期
☎51-3109



野村 義信
朝氣三丁目21-11
政友会 1期
☎33-9683



早川 武男
善光寺町1983
政友会 7期
☎32-1222



早川 光園
宝二丁目26-9
公明党 3期
☎22-8210



原田正八郎
太田町9-15
政友会 3期
☎37-3191



福島 勇
山宮町86
政新会 2期
☎52-2701



堀内 征治
宮原町39-8
公明党 1期
☎41-8886



堀内 光雄
青沼一丁目2-22
公明党 4期
☎35-6437



堀口 菊雄
国母五丁目3-35
政友会 2期
☎26-5843



三井 五郎
東光寺町264
政友会 7期
☎35-0903



宮島 雅展
舞町15-4
政新会 2期
☎26-5048



武川, 和好
横根町84-5
日本共産党 4期
☎35-3705



村山 二永
古上条町398-1
政新会 1期
☎41-3705



森沢 幸夫
千塚四丁目1-8
政新会 1期
☎52-0013



依田 敏夫
上石田三丁目2-26
政新会 1期
☎22-2356

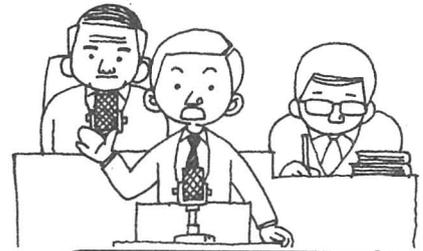


渡辺 静男
相生二丁目7-24
市政同志会 1期
☎33-9382

(注) 各議員の写真の下には氏名・住所・所属会派・当選回数・電話番号を掲載してあります。
なお、掲載順序は50音順です。

一般

質問



3月定例会

三月定例会の一般質問は、三月七日から三日間にわたって行われ、八氏が各党派を代表して昭和五十八年度予算・教育行政・国体開催・ミニ工業団地・商工振興対策等当面する市政の問題点をとりあげ、活発な質問が展開されました。その主な内容は次のとおりです。

新年度予算の特徴と市税収入の見通し

【問】昭和五十八年度予算の特徴と市税収入の見通しについて聞きたい。
 【答】歳入面では、近年十三パーセント台で伸びてきた市税収入が、五十八年度においては経済不況等の影響が大きく五・四パーセントの伸びにとどまり急激に落ち込んでいる。
 また、地方交付税についても、五十七年度予算比で二七・五パーセントの減、同決算対比で十二・四パーセントの減、国庫支出金については、五十七年度七・四パーセントの伸び

市債については国体関連、財源対策債等の増額で二十三・八パーセントの伸びを見込み、なお、財政調整基金の取りくずしを含めて、一般会計総額で三・二パーセントの増と低い伸び率となっている。
 ちなみに、地方財政計画では〇・九パーセントの伸び率である。
 歳出面では、厳しい財政状況を反映して、一般行政費については五十五、五十六年度十四パーセント台、五十七年度七・四パーセントの伸び

を見たが、五十八年度においては、実質二・九パーセントの伸びに抑える一方、公債費は十・三パーセント、また、繰出金については、二十四パーセントと伸びており非常に厳しい状況であるが、主要事業については、実施計画に基づき所要額をすべて計上した。

市税収入の見通しは、長期景気の低迷による所得の伸びなやみ、人勧凍結等による個人消費の落ち込み等不安定な経済要因の中で、一応、国の経済見通しを基調とした地方財政計画を目安にして、ここ数年最も低い五・四パーセントの伸びを見込み総額百七十七億八千七百円余りを予算計上した。

市税の伸びが、一ヶ台に鈍化したのは、ここ数年のことであり、厳しい税環境下ではあるが、納税者の理解を得る中で、昭和五十八年度の財源確保のために、職員一体となり、課税客体の把握、収納率の向上等に一層の努力をしていきたい。

ブロック塀は「安全」か 地震防災対策

【問】地震安全対策の面から、小学校通学路におけるブロック塀調査後の対応措置及び公共施設のブロック塀対策はどうなっているか。
 【答】東海大地震の発生にそなえて、児童の通学上の安全確保を図るため、全小学校通学路に点在するブロック塀の状況について昨年一月から三月



ブロックからフェンスに改善された通学道路

にかけて実施調査を行った。

その結果、調査対象となった六六五か所のブロック塀のうち、老朽化による亀裂などがあるもの、控え壁のないもの等が相当数あった。
 そのための緊急的対策として、各学校PTA等において、

- 一 通学路の変更の可否
 - 一 発生時における危険物からの避難指導の徹底
 - 一 危険ブロック塀所有者への改善要望
- などを検討し、それぞれの対応策を進めてきた。

しかし、危険ブロック塀等に対する改善措置のみならず、危険工作物及び危険物件防止等について、本市の防災対策の視点から根本的対策を検討するため、庁内に対策会議を設置し協議を行っている。
 なお、公共施設のブロック塀については、建築基準法どおり施行していることを確認し、安全が確保されている。

三月定例会		五月臨時会	
日付	内容	日付	内容
3月4日(金)	開会・提案理由の説明	5月18日(水)	開会
5日(土)	休会		議会構成
6日(日)	休会		提案理由の説明
7日(月)	本会議		質疑、各委員会付託
8日(火)	質疑及び市政一般質問		各常任委員会
9日(水)	本会議		委員会報告
	設置		閉会
	各委員会付託		
10日(木)	各常任委員会		
11日(金)	本会議・各常任委員会		
12日(土)	報告		
13日(日)	休会		
14日(月)	予算特別委員会		
19日(土)	条例・予算特別委員会		
20日(日)	休会		
22日(火)	本会議		
23日(水)	報告		
	閉会		

国体負担金 と 緑が丘の市営化は

【問】国体主会場負担金の経過と、県営緑が丘公園運動場の市営化について聞きたい。

【答】国体主会場の負担金は五十七年度当初においては、三十六億九千万円であったが、昨年南部隣接区域約五ヘクタールの拡大、さらにプールの新設等により全体で四十三億八千万円と推定している。

また、周辺整備に係わる本市の市費の投入額は約七億七千万円であるため、主会場建設に係わる本市の負担は約五十一億六千万円となる。

緑が丘公園運動場の問題については、昨年、県と協議し基本的方向の確認が行われているが、国体開催時までに少なくとも本市が小瀬に計

画した程度の運動施設を確保するよう努力していきたい。

非行対策に 全力を

【問】中学生非行の実態とその防止対策並びに青少年の非行対策の方針について伺いたい。

【答】甲府市の最近における中学生の非行の状況は五十六年度においては十五件六十八人、五十七年度は十二件五十五人である。
このような非行を防止するために

- 一 児童、生徒に対する理解を深め、教師と児童、生徒の信頼関係を確立し徹底した個別指導に努める。
- 二 全教職員が生徒指導の重要性を自覚し一体となって取組み、特に暴力行為等については毅然たる態度で指導にあたる。
- 三 家庭生活を充実させるため、学校の指導方針を家庭、地域に徹底させ、非行が発生しない地域環境づくりに努める。

等、積極的にすすめていきたい。

また、青少年の健全育成については、

- 一 明るい家庭づくりの推進
- 二 愛のパトロールの強化
- 三 青少年をとりまく社会環境の浄化

等、基本方針をたて、青少年対策本部を中心に、青少年のための市民会議、育成会、PTA等の協力を得ながら深刻化している青少年の非行対策を推進していきたい。



甲府市長 原 忠 三

新市長あいさつ

議会の協力を得ながら 新しい街づくりを

このたび私は、市民のみなさんのご支持を得、第三十一代甲府市長に就任させていただきましたが、日に日に市長としての責任の重さを痛感しているところであります。ご承知のように本市はいま、か

りましては、「公正・清潔」「市民の手による市民のための市政」を積極的に推進し、これらの事業を一つひとつ解決していく所存であります。そのためには、市議会の議員のみならず、さん方のご理解ご協力を切にお願い

するわけであります。新体制に入っの具体的な政策につきまは、六月定例議会におきまして発表させていただきますが、基本的には、いのちとくらしを守るため多くの事業に取り組みを承継しつつ、その前進を図ってまいる所存であります。

長びく不況と経済の低迷の中で地方自治をとりまく諸状況には非常に厳しいものがありますが、このようなときこそ、市当局も議会も、心新たにしていよりよい甲府市をめざし、市政を運営していくことこそが、市民の負託を受けた私たちの責務であると考えます。市民のみなさんのご協力をお願い申し上げます。

昭和五十八年三月 定例会質問要旨

氏名	党派	質問要旨
富水 政男	新政クラブ	一 市長の政治姿勢について (行財政改革、入札制度、財政等) 二 教育問題について (青少年問題、校内暴力、教師の労働環境等)
富島 雅展	政和会	一 市長の政治姿勢について 二 昭和五十八年度予算について 三 区画整理事業について 四 ミニ工業団地の造成について
込山 貴雄	日本社会党	一 昭和五十八年度予算と計画について
原田正八郎	市民クラブ	一 市長の政治姿勢について 二 青少年対策について 三 市立病院の運営について 四 南公民館の整備拡充について
小林 康作	公明党	一 財政問題について 二 消防行政について 三 福祉行政について (老人保健法ほか) 四 教育行政について(教師像ほか) 五 中央卸売市場について 六 窓口業務について 七 都市基盤整備について
小沢 綱雄	政友会	一 公務員倫理の確立について 二 商工振興対策について 三 市立病院の経営について
土屋 直	公正クラブ	一 市長の政治姿勢について 二 財政問題と組織改革について 三 国体開催に関連して 四 福祉の向上について
武川 和好	日本共産党	一 市長の政治姿勢について 二 昭和五十八年度一般会計予算について

一般質問

琢美小移転による 学区の変更は

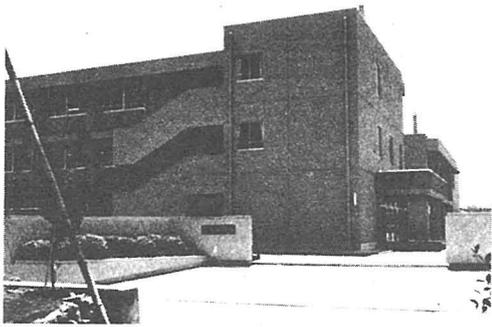


【問】琢美小と東小学校の近接化に伴う学区の調整をどうはかるか聞きたい。

【答】琢美小学校を刑務所跡地に移転建設するにあたり、朝気一丁目地内に二つの小学校となるため、その学区をどう決めるかについて慎重に、しかも現実的な配慮のもとに検討を加えてきた。

その一つは、学校規模の適正かつ均等化と、学校位置、通学距離、安全性などの点を考慮して、市の試案を地元自治会、PTAに示し協議を進めてきた。

それは、朝気一、二丁目地内の学



移転開校した琢美小学校

区調整が中心となったものである。

しかし、新琢美小学校の周辺が道路工事や、年金会館等の建設工事で混雑し通学路等に問題も生じるので、この学区調整は二年間凍結し、その間、地元と十分協議を重ね、学区決定を行うことで関係者と了解が得られたので、四月移転開校時は、両校とも現在学区のままとした。

ミニ工業団地 構想は

【問】ミニ工業団地の構想と、五十八年度中に行う適地調査と基本計画の内容を聞きたい。

【答】中央道の全通により都市間競争の激化が予想される中において、足腰の強い地場産業の育成ということが一層大事であると考えている。そのためには、地域の工業の集約化、高度化を図ることが必要であり、その受け皿づくりがどうしても必要であると考えている。

現在、市内の南部地域に適地を選定し、約五万坪位の団地造成を検討している。

五十八年度においてこの地域の立地診断、環境評価等の調査を行い、これに基づき基本計画を策定する考である。

北部振興計画

見通



【問】北部山岳地域振興計画の策定の経過と現況について聞きたい。

【答】地元代表、市民代表、学識経験者等で構成する「甲府市北部山岳地域振興計画策定委員会」は、かねてから、北部地域の振興計画を検討してきたが、先に、計画研究委員会より基本構想、基本計画案が提示された。

そこで、この素案が示す振興計画の内容について行政対応としての基本的事項の協議と各局間等との調整を進め、さらに計画研究委員会とも調整協議もとのい、計画の成案も得た。

地域計画のもつ特殊性に基づき計画策定に慎重な対応を図ってきたが、本年度中には計画策定委員会に諮り基本計画を確定したい。

なお、基本計画に基づく実施計画については、計画策定委員会での市民参加のあり方等の検討を踏まえ、五十八年度中に策定したい。

昭和58年度の主要な事業

(単位千円)

◇福祉向上のための事業 (18,816,573)	住宅建設用地取得	203,308	
身体障害者福祉事業	193,279	道路舗装事業	310,751
老人生きがい対策	34,345	道路整備事業(貢川1号線ほか)	159,000
老人医療費助成事業	448,178	道路新設改良事業	559,600
救急医療体制整備事業	59,474	橋りょう改良事業(西原橋、宮原大橋ほか)	105,000
同和対策	314,009	上水道建設、改良事業	6,348,549
ガードレール、カーブミラー設置	67,450	下水道建設	4,787,877
防災費	161,430	処理場築造	865,712
◇教育文化振興のための事業 (5,053,215)	火葬場建設	411,988	
小学校新築、増改築(春日小、東小、相生小、羽黒小)	832,919	公害対策	29,802
中学校増改築(東中、北中)	800,797	都市公園建設	243,899
屋内運動場増築(琢美小、相川小)	193,224	公共施設緑化推進(学校、街路)	35,447
給食室改築(春日小、穴切小、国母小)	97,043	◇産業振興、都市基盤整備のための事業 (4,331,664)	
プール建設(琢美小)	44,652	商工業資金貸付	1,111,208
学校開校事業	80,302	観光開発整備	11,095
国民体育大会施設整備事業	1,116,193	非補助土地改良事業	136,492
留守家庭児童会	26,696	地籍調査	23,987
◇生活環境整備のための事業 (22,519,535)		林道整備	71,279
公営住宅建設事業	522,849	街路事業の施工(上阿原町寿町線ほか)	999,002
		甲府駅舎改良等工事費負担金	574,000

条例特別委員会



委員会審査 の主な内容



- 委員長** 込山貴雄
- 委員** 上田 英文、小河原正平、宮島 雅展
 中込 孝文、中西 久、堀口 菊雄
 小沢 綱雄、白井 成夫、岡田 修
 富永 政男
- 副委員長** 早川光圀

条例特別委員会は、付託された条例案等十二件を三月十四日から十八日までの五日間にわたり慎重に審査した結果、いずれも全員異議なく当局原案を可決しました。審査にあたった特別委員は次のとおりです。

総括質問

総括質問の中で出された意見要望は次のとおりです。

一 かいじ団体開催にむけて、選手強化にあたっては、ジブシーの選手採用がないよう県内の地元選手を中心にすすめてもらいたい。

また、小中学生の授業が行事の参加及びその練習等によってカットされないよう配慮して、カリキュラムをしっかり守るよう指導してほしい。さらに、開会式等は華美に流れず、普段着でも参加できるようにしてもらいたい。

一 甲府駅近代化等に伴う大型店の出店、既存大型店等の増床計画が提出されているが、計画の概況報告書によると大型店売場面積は現在の約二倍となり、売上高は五割から九割強となっている。これ以上出店等を認めると、周辺既存中小企業への影響は厳しく死活問題である。市として意見をまとめるにあたっては、十分検討し、慎重に取り組んでほしい。

一 工事請負の工事完成保証人について、一つの業者が同一業者の何かの保証人となっていたため、その業者の倒産による不測事態に



三月九日の本会議において、総務委員会、民生委員会、建設経済委員会、水道委員会の各委員会に分割付託された昭和五十七年度甲府市一般会計補正予算について、各委員会とも十日及び二十三日の二日間にわたり委員会を開き、慎重に審査した結果、各委員会とも全員異議なく当局原案のとおり可決いたしました。

条例審査

対し、保証人の肩がわりの工事施工に支障をきたしているケースを指摘し、保証人については、工事量等を勘案する中で検討し、不測の事態に対しても工事が遅滞なく継続するよう指導してほしい。

一 甲府商業高校の教育のあり方について、施設の充実を図るとともに教職員の積極的な人事交流、男子生徒の増員等を図り、清新な校風を満たし、勇猛かつ達な生徒に教育し、伝統ある学校をさらに活力ある学校にその名声を高めていくべきである。特に教員の人事交流は制度的に困難な面もあるが、スムーズに行えるよう努力してほしい。

甲府市市民会館条例の一部改正

国母市民会館の廃止による代替施設として小集会室的なものを、地元消防団の車庫等の改築計画に併せて検討してほしいとの要望がありました。

甲府市中小企業振興融資条例の一部改正

資金融資の対象業種が不況業種を含め、拡大された新しい制度であるので、十分活用されるよう市民に積極的にPRをし、産業振興に努めてほしいとの要望がありました。

甲府市市営住宅条例の一部改正

住宅建設にあたっては、同地域のみならず都市政策上、市内全域のバランスを考慮してほしいとの要望がありました。

小河原議員 市村議員 逝去



小河原議員
来今日まで十二年間の長きにわたり正副議長等を歴任され市政の発展に尽くされましたが、四月二十一日に任期をまっとうすることなく急逝されました。



市村議員
は、昭和五十八年五月当選以来二期八年間にわたり甲府地区広域行政事務組合議長等を歴任され市政伸展のためご尽力をされましたが、小河原議員と同じ四月二十一日に相次いで逝去されました。

甲府市議会議員小河原正平氏は、本年三月定例市議会最終まで活躍され、昭和四十六年当選以来今日まで十二年間の長きにわたり正副議長等を歴任され市政の発展に尽くされましたが、四月二十一日に任期をまっとうすることなく急逝されました。

また、甲府市議会議員市村輝男氏は、昭和五十八年五月当選以来二期八年間にわたり甲府地区広域行政事務組合議長等を歴任され市政伸展のためご尽力をされましたが、小河原議員と同じ四月二十一日に相次いで逝去されました。

小河原議員、市村議員のご両氏に對しまして心から哀悼の意を表し、つつしんでご冥福をお祈りいたします。

望がありました。

甲府市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団活動に私費負担をしている面もあるので、今後団員の費用弁償額は増額するよう検討すること。

予算特別委員会

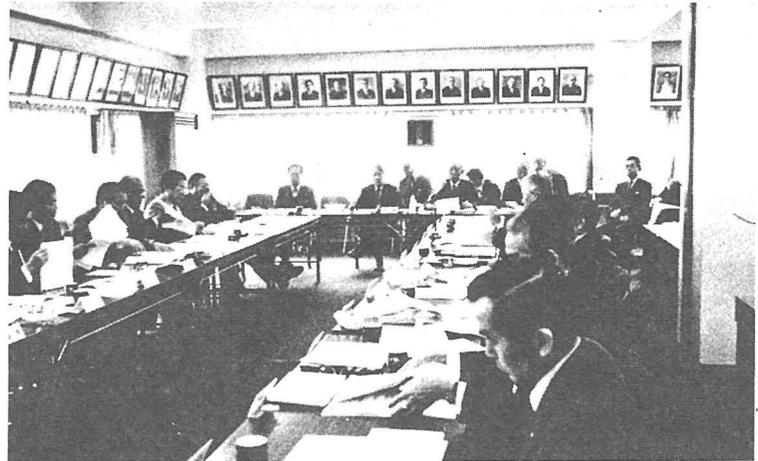
委員会審査の主な内容



堀込委員長

委員長 堀込徳一 副委員長 内藤源一
委員 内藤 秀治 伊藤 常八 市川 正雄 塩野 褒明
福島 勇 樋口 精一 小林 匡 飯島 勇
鈴木 豊後 岡 伸 三井 五郎 長瀬正左衛門
原田正八郎 市村 輝男 小林 康作 堀内 光雄
早川 武男 山中 繁芳 小沢 政春 秋山慎次郎
土屋 直 武川 和好 千野 喙

甲府市の昭和五十八年度一般会計の予算並びに各特別会計の予算の十案について三月十二日から十八日までの間六日間にわたり慎重に審査した結果、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決しました。
なお、審査にあたった特別委員と委員会審査の主な内容は次のとおりです。



総括質問

総括質問の中で出された要望意見は次のとおりです。

一 国の行政改革と経済の停滞は地方行政に大きな影響をもたらしており、本市の新年度の一般会計予算をみても、市税は五・四パーセントの伸びという過去にない厳しいものとなり、加えて地方交付税は二七・五パーセント、国庫支出金は一〇パーセントのそれぞれ減となっている。

一方市債が二三・八パーセントの伸びを示し、さらに財政調整基金のとりにくさをせざるを得ない状況であり、これは非常に厳しい予算内容といわざるを得ない。

従ってこれからの財源確保については万全の配慮をし、より一層効率的な行財政運営に努め、総合計画の完全実施に向けて努力すること。

一 地方の時代といわれながら依然として三割自治であり、この言葉も最近うすれがちで中央集権的傾向が強くなり、地方交付税の伸張率をみてもむしろ三割自治がくずれようとしている状況にあると理解されるが、地方自治体の自主性自立性を高め地方自治を確立するため、あらゆる機会を通じて、より一層積極的に取り組んでもらいたい。

一 現在の行財政対策委員会は当面

する問題への対応が主体のようだが、組織の簡素化、合理化、事務事業の見直し、定員の抑制などにも真剣に取り組む、より一層行政の減量化を推進してほしい。

一 最近全国的に個性ある都市づくりが課題となっており、街路、公共施設の緑化をはじめ、当面の駅ビル、駅前広場については本市独自の個性あるものにする配慮をするとともに、由緒ある町名についてもその歴史性、風土性豊かな街づくりを行って、個性ある都市づくりを推進してほしい。

また、学校建築をはじめ公共施設については、画一的なものが多く、文化的な雰囲気をもったユニークさを加味した建物とすることも十分検討すること。

一般会計予算

歳出

(民生費)

- 一 児童遊園地への水飲場設置を年次計画によって逐次行うこと。
- 一 民生委員・児童委員の推せん方法を再検討すること。
- 一 ちほう症老人に対する積極的な施策を樹立すること。
- 一 老人の生きがい対策と健康確保の一環としてゲートボール場設置を進めること。
- 一 国民年金の未加入者の加入促進に一層努力すること。

(衛生費)

宮入貝ばく滅のための地方病予防対策の今後の継続と、臭気等の苦情がたえない浄化槽に対するきめの細かい対応をすること。

(農林水産業費)

稲作転換事業は多額の経費を投入した割には効果があがっていない。逆に農業生産は低下し、農業の衰退にもつながっているため、営農指導員の設置等農協組織の充実を図りながら農業生産技術の向上に鋭意努力を図ること。

(商工費)

地場産業振興センターについては、五十八年、五十九年の二か年度で国庫補助を受けながら市、県、業界及び国中地区の市町村でそれぞれ出資する第三セクター方式により建設し、現在、建設推進協議会において場所の選定、建物の規模施設の内容等検討をしている。センターでの物産品販売によって価格の適正化、標準化のための誘導を図っていききたいとの考えが示されました。

(土木費)

国体に対処するための花いっぱい運動については、国体開催時には、たくさんの方が必要となるので、五十八年は花の苗の育成と供給源の開発を目標とし、五十九年度は約二千基のフラワーポットの購入をし、植え付けや水やり管理については、各自治会、老人クラブ等の協力により、市民意識の啓蒙を図る。最終的には九千基のフラワーポットで飾り、花を育てる運動を展開していく、との考えが示されました。

昭和58年度 甲府市予算額	
一般会計	346億4,063万円
特別会計	360億6,005万2千円
総額	707億68万2千円

(消防費)

自主防災組織の育成強化については、地域住民の意識高揚と啓発については事務職員で、実施訓練等の指導については専門職である二名の消防職員によって対応しているが、まだ十分とはいえないので、今後特に実地訓練等の指導に対する態勢強化に意を注ぎ、自主防災組織の育成強化を図るとの考えが示されました。

(教育費)

非行防止対策について、学校当局に対しては生徒自身の自立的、自治的な集団生活ができるような指導の強化を、また教師に対してはきめ細かな個別の対応ができるような研修指導を行うとともに、社会教育の面からも家庭教育講座の開設等により家庭教育の徹底を図っていく、その予防と補導の面については、市長部局の青少年対策担当と一体となって積極的に取り組む、非行防止の万全を期していくとの考え方が示されました。

歳入

国庫支出金及び県支出金のうち特に零細な補助金については行政改革が叫ばれている折から、市長会等の機関を通じその整理と充実を図、県に働きかけること。

特別会計予算

(国民健康保険事業会計)

保険料の滞納繰越分の徴収にあたっては口座振替制度の活用や被保険者組織への加入促進など担当職員が一体となって、さらに創意工夫を重ねながら解消につとめ、健全な国保財政を維持していく旨の考えが示されました。

(下水道事業会計)

コンポスト稼働に伴う、おが屑確保について、現状の試算では四分の一の系列で十七・五トンの汚泥を処理するには日量三十立米のおが屑が必要になり、この確保については市内の製材業組合と約束がされており、安定供給の見通しであるが、将来展望の中ではおが屑の生産をも含めた検討をし、慎重に対応するとの考えが示されました。

(病院事業会計)

病院当局と開設者側とが十分協議するなかで病院経営の抜本的な見直しと、また院内の一体感を培いながら魅力的でかつ市民に信頼される医療体制の充実につとめ、健全な病院運営を行うこと。

駅近・国体・地震

特別委員会中間報告

**甲府駅近代化促進並びに
交通問題調査特別委員会**

本特別委員会の主な調査活動は次のとおりです。

駅近代化に関し、南北自由通路については地元要望の北口分岐実現のため関係者に陳情し強く要請をしたが、分岐設置個所に油の地下貯蔵タンク、非常用輸送線路の確保の必要と、通路に勾配が生じ構造上無理がある等の点がネックになり、当面分岐の設置は困難な状況であるが、今後も国鉄及び地元関係者として仮称検討委員会を設置し、北口広場の有効利用とともに継続的に検討していくとの考えが示された。

**国民体育大会対策
調査特別委員会**

本特別委員会の主な調査活動は次のとおりです。

一 主会場の用地買収状況は、第一工区九十八パーセント、第二工区九十一パーセントが買収済みであり、未買収地についても、五十八年中に買収完了予定。

一 主会場の建設状況は、第一工区造成工事九十パーセント、陸上競技場メインスタンド工事七十パーセントの進捗を示し、第二工区は、体育館部分の造成が終了し、五十八年度完成にむけ体育館の建設工事に着手している。

一 小瀬スポーツ公園の県移管後の代替施設確保については、県有施設を市に移管されるよう折衝を重ね、国体開催時までには結論を出していきたいとの説明があった。

一 南部隣接地五ヘクタール余が新たに公園区域として決定、公園の

全体面積は四十二・六ヘクタールに変更された。
また、かじ国体のシンボルマーク等も決定し、市民の間にも国体意識が高まる中で、五十八年度中に市民運動推進委員会も結成の見通しとなり、庁内組織の強化を図り、なお一層努力していく旨の決意が示されました。

**地震防災対策
調査特別委員会**

本特別委員会の主な調査活動は次のとおりです。

一 山梨大学教授西宮克彦氏による、大規模地震対策に関する講演会を開催、甲府市の地形・地質等について講義を受け、地震防災対策についての認識を深めた。

一 山梨県立防災安全センターと市南部コミュニティ防災センターを視察、防災に対する知識や技術を習得し、防災用資機材等の実態を調査した。

一 北海道日高地方を襲った震度六(烈震)の浦河沖地震の被害状況、防災対策等について調査した。

一 昭和五十七年度地震防災対策事業実績と五十八年度の事業概要について審査し、防災資機材等整備充実を図り、その活用にも万全を期すことを要望した。

近時、富士山大爆発説や、東京直下型地震説、また頻発する伊豆沖地震等があるが、本市の防災対策は、着々整備されつつあり、今後取り組まなければならない諸問題も多く、市民の生命と財産を守るため今後とも積極的に取り組むよう要望する。

請願・陳情の

審査結果

請願

不採択になったもの

〔建設経済委員会〕

○寿・宝地区区画整理反対（寿地区
明るく住みよい町づくりの会代表・
笠井齊ほか）

○朝鮮の自主的平和統一実現のため
の高麗民主連邦共和国創立方を支
持する決議（甲府市国母七丁目一
四・朴愚燮）

○軍事費を削り、教育の充実（新日
本婦人の会甲府支部代表・中野朱実
枝）

○徴兵制、核兵器持ち込み反対、核
基地撤去、非核三原則法制定中、採
択分を除く（新日本婦人の会甲府支
部代表・中野朱実枝）

○第二次臨時行政調査会「第一次答
申」に反対し、くらしを守ること
（新日本婦人の会甲府支部代表・中
野朱実枝）

○靖国神社公式参拝に反対する件
（甲府市朝氣二丁目一六・小宮山
忠美ほか）

○民生委員会）

○優生保護法の改正（南巨摩郡鯉沢
町一七三七・望月吉三ほか）

○優生保護法の一部改正に反対する
意見書提出（新日本婦人の会甲府支
部代表・中野朱実枝）

○優生保護法第十四条（第一項第四
号）の削除反対（甲府市宝一丁目九
一―甲府共立病院・志場正光）

○北新保育所の延長保育の制度化
（甲府市羽黒町一〇五三―四・田中
克子ほか）

○優生保護法の「改正」反対（日本
婦人会議山梨県本部議長・向山き久
子ほか）

○優生保護法改正反対（山梨県医師
会長・竹居茂樹ほか）

〔建設経済委員会〕

○城東地区区画整理推進（城東地区
区画整理推進協議会々々長・柳沢卯平
ほか）

○大型店出店規制（甲府民主商工会
会長・筒井昭治）

○城東地区区画整理事業計画反対
（甲府市城東三丁目十六―十六・小
佐野総一郎ほか）

○甲府市中心商店街区域の街づくり構
想（甲府市中央商店街再開発委員会
々々長・太田源一郎）

○甲府市の鳥「カワセミ」制定（日
本野鳥の会甲府支部代表・許山韶）

〔総務・民生・建設経済委員会〕

○軍事費を減らし、増税と物価値上
げをやめてくらしを守ること（第二
十三回山梨母親大会実行委員長・山
本つる代）

会労働組合委員長・土地邦彦ほか）
（甲府駅近代化促進・交通問題調
査特別委員会）

○甲府駅近代化に伴う大規模商業施
設反対（甲府商店街連盟会長・太田
源一郎）

○甲府駅に大規模商業施設併設反対
（甲府駅商業施設反対期成同盟会長
・飯島哲）

○甲府駅近代化（甲府駅前発展共栄
会長・宮坂鴻太郎）

○甲府駅近代化及び貨物ホームの移
転（甲府駅前発展会々々長・中込奎一
ほか）

○甲府駅近代化計画（甲府駅前展
会々々長・中込奎一ほか）

陳情

継続審査するもの

〔総務委員会〕

○靖国問題（安保放棄・諸要求貫徹
山梨県実行委員会山梨勤労者医療協
会）

請願・陳情はどう処理されたか

市長結果報告

請願

▽道路の整備（甲府市丸の内二丁目
七番二号 富水会々々長・川口良直ほ
か）

▽農用地区域の指定除外（和戸果実
組合長・柵木菊雄ほか）

編集後記

◆立夏も過ぎ、四方の山々も緑につ
つまれ、日ごとに鮮やかさを増し、
新しい息吹が感じられる今日この頃
となりました。

◆統一地方選挙も終わり改選後初の
「市議会だより」をお届けします。
本号は新年度の条例・予算を審議
した三月定例会の模様と、統一選で
市民の皆様との望をにない当選され
た「新議員の横顔」の紹介等五月臨
時会を中心に伝えたいです。

◆議会だよりは本号から版型が変り
ました。創刊以来十四年間親しまれ
てきましたタブロイド判から、市広
報と同じA四判で発行することにな
りました。これからもなお一層みや
すく、親しみやすい紙面づくりを、
私共新しい編集委員一同心がけてま
います。

市議会だより編集委員

- 編集委員長 長瀬正左衛門
- 副委員長 早川 光園
- 委員 福島 勇
- 三井 五郎
- 中込 孝文
- 秋山 雅司
- 富永 政男
- 岡田 修